

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「全国高校生合同販売からはじまる長野モデル若者づくり事業」(デパートサミット事業)
事業主体 (連絡先)	長野県商業教育研究会 長野市妻科243 長野商業高等学校
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,297,206円(うち支援金 1,326,000円)

事業内容

長野で生まれ・育ち・働く若者のために新しい学びをつくらうと、デパートサミット事業を実施した。県内13校の商業を学ぶ高校生約60名が一堂に集い、8回にわたってブランドづくり戦略および商品開発を学んだ。また、学んだ内容を検証する場として8月にながの東急百貨店で「デパートゆにっと」を行い、県外から参加した12校約50名の生徒とともに実際に開発した商品を中心に販売を行った。【販売の様子】



事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① マーケティング塾での講義を通して地域資源の発掘に対する意識が高まり、地元の特産を用いた商品の開発をすすめることができた。
- ② 地域に根付いた商品を開発し、実際に販売することで地元のブランド力を高めようという意識が高まるとともにブランドとして定着することの難しさを実感した。
- ③ ながの東急百貨店でのイベントを、全国の同士とともに盛り上げ、また商業を学ぶ生徒同士の輪を広めることができた。そのことにより夏の長野のイベントとして、広く周知することができた。
- ④ デパートサミット事業を通し、地元企業の方々をはじめ多くの大人たちと関わることで、主体的に考え動くことの大切さや必要性、販売を通して表現力やコミュニケーション力を養うことができた。

【目標・ねらい】

- ① 高校生の、地域に目を向けた商品開発
- ② 地域密着商品のブランド化
- ③ 長野モデル若者づくりを全国へ発信
- ④ 若者の主体性・社会性の伸長

※自己評価【A】

【理由】

生徒たちは日頃学習することのできない“生きた学び”を実践的な活動の中から学び得ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後はマーケティング塾での学びを通し、引き続き地域産業に貢献できる人材の育成をめざしていきたい。また松本大学の協力を得ながら質の高いマーケティングの学びを商業を学ぶ生徒たちに提供をしていき、市場に求められる地域ブランドの確立を目指し、商品開発に携わらせていきたい。さらに、デパートゆにっとが長野モデルとして定着し、全国のより多くの生徒たちに参加してもらえるよう全国にこの活動を発信していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある